

IOSCOによる「分散型金融がどのように金融市場を複製しているか」の説明

証券監督者国際機構（IOSCO）は本日、分散型金融（DeFi）が従来型の金融市場を鏡像としながら急速に進化していることを示す詳細な[報告書](#)を公表した。

アシュリー・オルダーIOSCO 議長 兼 香港証券先物取引委員会（SFC）CEO は、「DeFi は金融サービスの中でも斬新に急成長している分野であり、本報告書は IOSCO が懸念する主要分野の概要を示している」と述べた。

IOSCO の報告書は、急速に発展する DeFi 市場、その新たな商品、サービス、主要な参加者について包括的なレビューを提供している。本報告書は、DeFi による斬新な商品やサービスをいくつか特定している。しかしながら、新たに登場したサービスの多くは、より伝統的な金融サービスや活動を複製したものであるにもかかわらず、規制が弱く、投資家のリスクも高まっている。

本報告書は、DeFi が中央集権的な内部関係者のコントロールを受けないピア・ツー・ピア市場であるという DeFi のイノベーターの主張に対して疑問を投げ掛けている。本報告書は、DeFi の仕組みを詳細に調べることで、例えば「ガバナンス・トークン」の配布などを通じてコントロールを保持することが多いと言われる中心的な主体を特定している。また、本報告書は、重大な利益相反に直面することが多いとされる、中央集権化された取引プラットフォームが果たす重要な役割も強調している。

この報告書を受けて、IOSCO は新たなタスクフォースの設置を発表した。シンガポール金融管理局（MAS）のタン・リー・リム Assistant Managing Director（資本市場担当）兼 新タスクフォース議長は、「本報告書は、DeFi が投資家や市場にもたらす可能性のある潜在的な機会性と重大なリスクの両方について証拠を提供している。IOSCO がタスクフォースの設置を決定したことは、この急成長分野から生じるリスクに適切に対処するために、タイムリーかつ協調的な政策アクションを取るという我々メンバーの決意を示している。私は、タスクフォースの専門家や同僚と緊密に協力して、今後の作業を進めていくことを楽しみにしている」と述べた。

IOSCO は、DeFi 報告書で提起された問題やその他の暗号資産や DeFi に関連する事項について、暗号資産市場や DeFi の参加者を含む一般市民及びその他の利害関係者に対して、コメントや意見を募集している。コメントは DeFi@iosco.org に提出できる。

（Note to the Editor は省略）

（以上）